



熊日合唱コンクール 最優秀賞・熊日大賞受賞

一昨日(22日)は、熊日合唱コンクールが県立劇場で行われました。新聞報道等でご存じの方もいると思いますが、合唱部は、最優秀賞と小学校・中学校の参加校の中でのグランプリとなる熊日大賞を受賞しました。

私も合唱部の応援に駆け付けましたが、県劇の張りつめた会場の中で、子供たちは堂々と凛とした姿勢で臨み、会場中に歌声を響かせました。合唱曲は「歌声はどこへいくの」【作詞:みなづきみのり 作曲:松下耕】という曲でした。担当の近藤先生の指揮に子供たちの気持ちが一体となり、最後まで圧巻の合唱で鳥肌が立つほどでした。合唱後、部長の宗心さんは、涙を流しながら「今まで練習したことを全部思い出して、頑張ってきたなあと思って感動しました。練習してきて、今も戦争とかがあって(歌で)伝えることができたと思います。」新聞には「今日は自慢できるくらいみんな良く歌えていて、本番中に涙が出そうだった。」と答えています。また、担当の近藤先生は、受賞の要因を「①思いを共有したこと:曲に対する思いやイメージはもちろんのこと、受賞したいという同じ思いをみんなで共有し、そのためにすべきことを考え実行したことです。②最後まで諦めないこと:ここまでで(これだけで)いいか…と妥協せず、最後まで諦めずに練習したり、確認したりしたことです。③保護者の協力体制:子供たちが安心して活動できるように常に考え、バックアップをしてくださる保護者の方々だったからです。」と述べてくれました。

歌詞の一節の中に、「歌は消えない 波なって響き 輝きになって残り雨になって降り注ぎ 雲になって旅をする(中略)争いを花開くエネルギーに 諦めを勇気や励ましに変え 祈りや願いになって歌声は地球を包み込み 私たちを見守っているんだよ」とあります。今、世界では理不尽な争いや紛争が起こっています。合唱部の歌声を聴きながら、この歌声を戦争や紛争を起こしている国や地域の人々の心に届けることができるのであれば、その心を潤し、戦争や紛争の抑止と成り得るのではないかと思うくらい、心を強く動かされました。

また、帯山中学校合唱部は、今年度全国大会に出場します。今回のコンクールで優良賞を受賞した帯山小学校も素晴らしい歌声でした。地域で連綿と続く、ひた向きな取組が、花を咲かせているようで嬉しい気持ちになります。

合唱部の皆さん、感動をありがとうございました!

